

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表：2023年12月28日

事業所名 ふわり諫早児童発達支援

保護者等数(児童数) 40 回収数10 割合25%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	9	0	1	0	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	10	0	0	0	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	10	0	0	0	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	10	0	0	0	
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	7	3	0	0	
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7	3	0	0	
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	8	2	0	0	年に何度か支援参観があるが、個別支援での参観も見たいです。です
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	8	2	0	0	
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	6	2	2	0	
保護者への説明等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	9	1	0	0	
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	10	0	0	0	
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか	7	3	0	0	して良かったです。パパも、意識して、声かけしてくれるようになりました。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	10	0	0	0	
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	10	0	0	0	
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5	4	1	0	

	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	9	1	0	0	
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	9	1	0	0	外出や行事などの予定もプリント配布して欲しいです
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	7	3	0	0	活動の写真をもっとみたいです
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	10	0	0	0	
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	6	3	1	0	
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5	5	0	0	
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	8	2	0	0	幼稚園の方がいま慣れてきてお友達というか好きな子が沢山出来ているようです。ふわりが嫌というより幼稚園楽しいが勝っていて。いいことだとは思いますが、こちらも楽しんでほしいです。
	23	事業所の支援に満足しているか	10	0	0	0	22番の続きになりますが、そのうえでふわりさんとどうしたら楽しく通えるか考えて行けたらと思います。

*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメント時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことで児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長せて実施されることが想定されています。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方を学ぶことで、子どもが適切に振る舞います。

ご意見を踏まえた
対応

ご意見ありがとうございます。今後は見学を機会を多く設定し細かい場面での様子を共有できるよう努めます。

ご参加いただきありがとうございました。今後もご家族様を含めた機会を作って参ります。

今後はテーマに沿った保護者様会や交流の機会を作って参ります。

ご意見ありがとうございます。今後は日々の活動の中で外出等の予定がある場合にも丁寧に発信を行います。
ご意見ありがとうございます。Line等を駆使しながら活動の様子などたくさんお伝え出来るように取り組みます。
今後は避難訓練や非常食などの災害時を想定した取り組みの際に保護者様にも分かりやすい発信を行って参ります。
ご意見ありがとうございます。お子さまの生活の場を児童発達支援だけで考えずに今通われている園の中で取り組めることも含めて支援を検討して参ります。
ご意見ありがとうございます。私どももお子さまの生活にとってどの場所でどのような支援が望まれるのか改めて考えて参ります。

トを通じて、総合的な支援目標及び達
す。これは、児童発達支援センター又は

期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わ

行動を獲得することを目標としていま